

沖縄県内の市町村が運用するハブ捕り器の捕獲成績 4 — 浦添市, 具志川市 (現うるま市), 北中城村, 中城村におけるハブの捕獲地点 —

西村昌彦

Results of Snake Trapping by the Local Governments in Okinawa Prefecture 4 — Trapping Points of Habu, *Protobothrops flavoviridis* (Viperidae) in Urasoe, Guhikawa, Kitanakagusuku and Nakagusuku —

Masahiko NISHIMURA

要旨 : 住民の要望に応じて, 1998–2006 年の間に浦添市, 具志川市 (現うるま市), 北中城村, 中城村が運用した, ハブ捕り器の設置地点ごとの捕獲率を示した. 捕獲率 (捕獲数/運用量) は4段階の記号を用いたが, 1999 年の具志川市の結果は捕獲数別の記号とした.

Key words: ハブ捕り器, 捕獲地点, 捕獲率, ハブ, 沖縄島内4市村, Trapping points, Habu, *Protobothrops flavoviridis*, Okinawa

I はじめに

ハブ対策を目的として沖縄県内で主に市町村により用いられてきたハブ捕り器の捕獲結果は, ハブ, *Protobothrops flavoviridis* (クサリヘビ科) の分布地域と相対密度の推測などに用いることができ, これまでにも一部の集計結果が発表されている^{1,4)}. 地域住民や市町村にとっては, 特定の地域におけるハブの危険性についての情報が重要であり, 資料が多い市町村においては, ハブ捕獲地点を示した地図がその目安となる. 本報では, 既報の資料の一部を含めたこれらの地図を示した.

市については, 資料が多かった地域ごとの捕獲率とその信頼幅の分析³⁾が, 具志川市については今回示したより前の1987–1991年の間の記録をもとにした地域ごとの捕獲率の分析⁴⁾がある.

<謝辞>

ハブ捕り器の運用とデータの提供をいただいた4市村のハブ対策担当の方々と, データ入力を手伝っていただいた当研究所の大城司, 大城透, 池宮城麻衣子, 上原梓, 安井美和, 田上裕理らの方々に, 感謝する.

II 方法と結果

用いた資料は, 別報⁴⁾で示したうちの一部で, 1998–2006年の間に沖縄島内の浦添市, 具志川市 (現うるま市), 北中城村, 中城村が運用したハブ捕り器によるハブの捕獲結果である. 捕獲方法等は別報^{1,4)}に示したが, 捕獲地点における運用台数は, 1台であった具志川市以外では多くは複数台であった.

結果の記載方法は既報^{1,2)}と同じく, 各年の設置地点ごとの捕獲率別に記号を定め, 1つの地図に複数年分の記号を入れた. ただし, 具志川市の1999年の資料においては運用期間が不明であったため, 同じ記号を捕獲ではなく捕獲数の階級を示す記号として用いた. なお, 地図上に記号を入れる際には, 同一か近隣の地点の記号との重なりを避けるため, 位置を少しずらした場合があった.

4市村の結果を, 図1–4に示す. なお, 市町村単位での捕獲率の比較には, 別報⁴⁾を参照されたい. 浦添

III 参考文献

- 1) 西村昌彦 (1999) 沖縄県内の市町村が運用するヘビ捕り器の捕獲成績1—1998年の資料を中心とした予報. 沖縄県衛生環境研究所報, 33: 133–138.
- 2) 勝連盛輝 (2007) 1998年から2005年間の那覇市によるハブの捕獲成績. 沖縄県衛生環境研究所報, 41: 159–165.
- 3) 西村昌彦・宮里剛・寺田考紀 (2008) 沖縄県内の市町村が運用するハブ捕り器の捕獲成績2—浦添市において捕獲されたハブとアカマタの平均捕獲率の精度と地域変異の推定. 沖縄県衛生環境研究所報, 42: 73–78.
- 4) 西村昌彦 (2010) 沖縄県内の市町村が運用するハブ捕り器の捕獲成績3—市町村ごと及び具志川市 (現うるま市) における1台ごとのハブとアカマタの捕獲結果一. 沖縄県衛生環境研究所報, 44: 37–44.

浦添市による ハブの捕獲 1998-2006年の結果



図1. 1998-2006年の間に浦添市が運用したハブ捕り器による地点ごとのハブの捕獲率。捕獲率は、捕獲個体数×100 / 有効運用量 (台×月)。一部の記号は、重なりを避けるため、位置をずらした。右図と一部重なりあり。

